

小形熱画像センサ T P - L シリーズのご提案 『動物の生態観測利用』

■ 提案内容

夜行性動物の行動観測を容易に実施 観測対象に負荷を与えません！

夜行性動物を可視カメラ等で観測する場合、
若干のライト照射等が必要となり、通常環境と異なります。

小形熱画像センサは熱エネルギーを捉え、データ蓄積を行うため、真っ暗闇でも動物の活動状態を観測できます。



▲天然記念物「山鼠（やまね）」



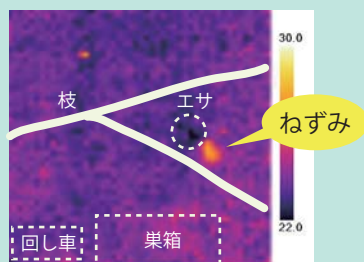
ゲージ内のネズミ等の
夜間活動観測を容易行えます

■ 使用方法

対象動物の入ったゲージの上部に取付し、PCにてデータ収録、観察を行います。

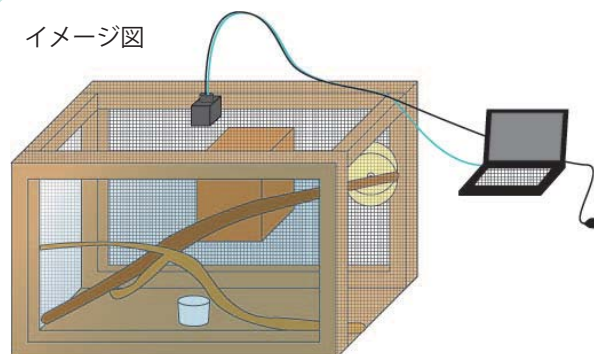
実験日：2009年5月11日
場所：某大学の研究室
対象物：ねずみ（山鼠）

JPEG データ：約 15KB/枚
Excel データ：約 12KB/枚

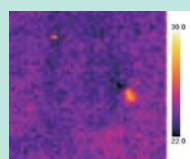


▲配置図

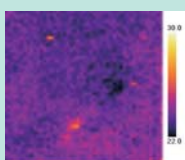
イメージ図



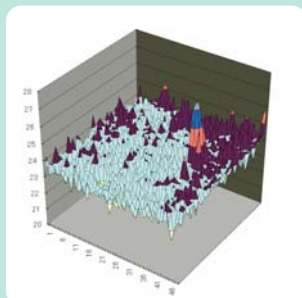
(注) ゲージの目が細かい場合は、内側に設置する必要があります。



▲食事中



▲回し車へ移動中



▲Excel データを元に作成した
温度分布グラフ

お問合せ先

販売店

株式会社 **チノ**

民生機器事業部
〒173-8632 東京都板橋区熊野町 32-8
TEL (03) 3956-2131 (直通)
FAX (03) 3956-8767
URL : <http://www.chino.co.jp>